

**平成29年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立大信中学校長

平成29年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学の2教科の実施となりました。

国語と数学の2教科で、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国語A	77.4%					○
国語B	72.2%				○	
数学A	64.6%					○
数学B	48.1%					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	75.4%				○	
書くこと	85.7%				○	
読むこと	73.8%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.2%				○	

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」では適切な構成を選択する問題が、「書くこと」では分かりやすい構成を選択する問題が全国平均を下回っていました。文章全体を把握する力を向上させるために、文章の順序を入れかえてよりわかりやすい構成を考えさせるような指導を行っていきます。
- 「読むこと」では、文章の要旨をとらえる問題や表現の特徴をとらえる問題はよくできていました。登場人物のものの見方や考え方を選択する問題が全国平均を下回っていましたので、読み取った内容を小集団の意見交換で深めていくような活動を取り入れた指導を行っていきます。
- 適切な慣用句を選択する問題と、古典作品の種類を選択する問題が全国平均を下回っていましたので、伝統的な言語文化についての興味・関心を高めるような活動を工夫していきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.4%	○				
書くこと	60.8%					○
読むこと	72.1%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	41.4%					○

【考 察】

- 話の論理的な構成や展開などに注意して聞く問題が全国平均を下回っていましたので、学校生活の様々な場面で聞き取った内容をまとめる活動を取り入れて力を伸ばしていきます。
- 比喩を考察する問題とアンケートで集めた情報について考察する問題はよくできていました。比喩表現については、機会をとらえてくり返し指導している効果が現れていますので、今後も続けていきます。
- 聞き手が話し手に伝えようとしていることとして適切なものを選択する問題が全国平均を下回っていました。発表の後に質疑応答させて意見のやりとりをさせる活動を行い、情報が正しく伝わるように工夫をさせる活動の充実を図っていきます。
- 登場人物の言動の意味を考えて内容を理解する問題が全国平均を下回っていました。具体的な表現を基にした文章の読み取りを徹底させる指導を行っていきます。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	70.4%					○
図 形	66.0%					○
関 数	57.4%					○
資料の活用	57.6%					○

【考 察】

- 円柱の体積を求める問題が全国平均を下回っていました。図形の公式についての定着が不十分でしたので、数学の学習の基盤となる基礎的な知識が確実に定着するように、練習を繰り返していきます。
- 等式の変形、一元一次方程式、連立二元一次方程式、扇形の弧の長さの問題が全国平均を上回っていました。小集団で説明し合う活動などにより、数量や図形などについて、文字や式をつくったり、必要に応じて図や表、グラフなどを用いて表現する力が向上した成果だと思われます。今後も工夫して指導していきます。
- 多角形の内角の和、平行四辺形、関数の意味、比例定数、範囲の意味の問題が全国平均を上回っていました。前の授業を振り返る小テストなどにより、数量や図形などについての知識・理解が進んだと思われますので、今後も継続していきます。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	46.3%					○
図 形	47.1%					○
関 数	50.8%					○
資料の活用	49.1%		○			

【考 察】

- 「資料の活用」の領域では、全体の中でどの位置にあるのかをとらえるための代表値を答える問題が全国平均を下回っていました。代表値について、その数値を求めることができて、それが資料の傾向を読み取るためにどう活用されるのか、その必要性や意味は何かということの理解が不十分でした。日常的な事象について必要な情報を適切に選択して数学的に解釈してその特徴をとらえることや、表やグラフを用いて課題を解決してその方法を分かりやすく説明するような活動を行い、理解を深めていきます。
- 数学的な表現を事象に即して解釈して的確に処理する問題、付加された条件の下で図形の性質を用いる問題はよくできていました。定期テストで説明問題を取り入れるなどした成果だと思われますので、今後も工夫していきます。